



本冊子は、建設業の新入社員が立派な社会人、建設業界人となれるよう、建設業で働く上で覚えておきたい基本的な事項を説明した入門書です。

この度、法令改正への対応や最新データへの更新など所要の改訂を行いましたので、新入社員の教育などに是非ご利用ください。

1. 本冊子の構成

第1部 社会人としての基本

- ① 社会人としての心構え
働くことの意味、仕事に向き合う姿勢、コンプライアンス、メディアリテラシーなど
- ② 自己管理
健康、ストレス、時間、お金を管理する方法

第2部 仕事の基本

- ① 職場の基本
コミュニケーション、ハウ・レン・ソウ、挨拶、身だしなみ、言葉づかい、電話対応の基本
- ② マナーの基本
名刺交換、来客時、訪問時、席次(上座、下座)のマナーの基本
- ③ ビジネス文書の基本
ビジネス文書、電子メールの書き方の基本

第3部 建設業の基本

- ① 建設産業の特徴
建設業の社会的役割、建設業の特徴など
- ② 建設業法の基本
建設業許可、現場技術者、経営事項審査など
- ③ 建設実務の基本
建設工事の関係者、土木工事／建築工事の流れ、現場管理など
- ④ 安全管理の基本
安全施工サイクル、安全標識、熱中症対策など

2. 主な改訂ポイント

(1) 技術者の専任制ほか

建設業法等の改正を踏まえて、技術者の専任制と兼務の特例の説明を修正しました。(P78～79「複数現場の兼務特例」)

そのほか、法令改正に伴う修正を行いました。

(2) リスクアセスメント

安全活動の例として、リスクアセスメントに関する説明を追加しました。(P107「リスクアセスメントの実施」)

(3) 熱中症対策

近年の著しい夏季高温に加え、2025年6月の改正労働安全衛生規則施行により、職場での熱中症対策が義務化されたことから、熱中症対策に関する説明を追加しました。(P110～111「熱中症対策」)

